2025年度　決算説明資料

株式会社アシックス　2026年2月13日

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

社長COOの富永満之です。
本日はご多用のなか、2025年度決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

2025年は、アシックスにとって、業績・オペレーションの両面で、
確かな前進を実感できた一年となりました。

加えて、コーポレート分野においても、外部からの評価をいただく機会が増えるなど、
企業としての基盤強化が進んだ一年だったと受け止めています。

こうした結果は、社員一人ひとりの挑戦と実行力、お客様やビジネスパートナーをはじめとする、
社内外の多くの方々の支えによって実現したものだと感じています。

一方で、2026年は中期経営計画の最終年度であり、次の成長ステージを見据え、
これまでの取り組みを確かな形にしていく、非常に重要な一年です。

本日は、これら2025年通期の結果を振り返るとともに、中期経営計画の最終年度となる
2026年に向けた考え方について、皆さまと共有させていただきます。
改めてよろしくお願いいたします。

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. 連結業績予想

7. IRカレンダー

Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IRカレンダー
Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2025年の振り返り

主要なトピックス

1. 5年連続で増収増益を達成
2. P.RUN、SPSの更なる成長

3. OTのグローバルにおけるブランディング強化

4. “Year of JAPAN”

5. ランニングエコシステム拡大

depor ticket
THAI RUN
GetMeRegistered
A BETTER WAY TO REGISTER

6. 「一般財団法人ASICS Foundation」設立

asics Foundation

主要な外部評価

コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー2025
大賞となる「Grand Prize Company」を受賞

Corporate Governance of The Year

IR優良企業賞2025
「IR優良企業大賞」を受賞

2025 IR Prime Business Award 優良企業大賞 Member of Japan Investor Relations Association

知財・無形資産ガバナンス表彰
「最優秀賞」を受賞

IPIAGPA
知財・無形資産ガバナンス推進協会

3

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

はじめに、アシックスにとっての2025年を、具体的に振り返りたいと思います。
まず業績面では、5年連続で増収増益を達成しました。
後ほど詳細な説明がありますが、コア事業であるパフォーマンスランニングに加え、
スポーツスタイルも引き続き大きく成長しました。パフォーマンスランニングでは、大型商品のローンチを
複数実施、アシックスのイノベーション力を発揮することができました。
オニツカタイガーも好調が続いています。バルセロナ、ロンドン、パリの目抜き通りに大型の直営店を出店し、
日本発のラグジュアリーライフスタイルブランドの確立に向けて欧州での拡大戦略に踏み切りました。
2025年は「Year of JAPAN」を掲げ、「東京2025世界陸上」、
「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」などを通じて、
日本国内はもちろん、日本発でアシックスブランドを高めていく重要な足がかりを作ることができました。
世界各地でレース登録サービスを展開しランナーとの接点を拡充してきましたが、
タイとスペインのレース登録会社に新たにグループ入りしてもらうことも決まり
ランニングエコシステムの更なる拡大に向けた布石を打てました。
資本市場に真正面から向き合う「ガチンコ経営」のもと、100社を超える株主と個別の議論をさせて頂いた
上で、「一般財団法人ASICS Foundation」を設立。早速活動を開始しました。
創業哲学に基づく、長期的な企業価値創造に向けた大きな一歩を踏み出しました。
このように、2025年は、好調な業績もさることながら、
将来の飛躍の基盤作りができた1年であったとも考えます。
こちらに示しておりますが、さまざまな栄誉ある外部評価も頂きました。
しかし、決してこれに慢心せずに、2026年もペースダウンすることなく、走り続けます。
是非、これからのアシックスにもご期待ください。

連結損益計算書

（単位：億円）

年間業績（1-12月）	FY24 実績	FY25 実績	前期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	6,785	**8,109**	+1,324 +19.5%
売上総利益	3,788	**4,606**	+818 +21.6%
売上総利益率	55.8%	**56.8%**	+1.0ppt
販管費	2,787	**3,181**	+394 +14.1%
販管費率	41.0%	**39.2%**	△1.8ppt
人件費	863	**961**	+98 +11.4%
広告宣伝費	520	**595**	+75 +14.2%
広告宣伝費率	7.7%	**7.3%**	△0.4ppt
賃借料	131	**158**	+27 +19.8%
減価償却費	203	**249**	+46 +22.8%
その他経費	1,070	**1,218**	+148 +13.8%
営業利益	1,001	**1,425**	+424 +42.4%
営業利益率	14.8%	**17.6%**	+2.8ppt
経常利益	926	**1,392**	+466 +50.4%
特別損益	6	**△5**	△11
親会社株主に帰属する当期純利益	638	**987**	+349 +54.7%

	FY24 実績	FY25 実績	増減額	増減率
海外売上高	5,450	6,524	+1,074	+19.7%
海外比率	80.3%	80.5%	-	+0.2ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,316	+19.4%
	連結営業利益増減	+422	+42.2%
	連結純利益増減	+355	+55.6%

平均為替レート（円）	FY24 実績	FY25 実績
1ドル	151.36	150.32
1ユーロ	163.66	169.09
1人民元	21.06	20.93

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは連結の損益計算書となります。

詳細は次ページにてご説明いたします。

2025年度 通期決算サマリー（1）

連結：全カテゴリー、全地域で売上成長、初の8,000億円超え. 粗利益率の改善もあり、営業利益（前期比+42.4%）、当期純利益（前期比+54.7%）ともに過去最高. なお、第４四半期（３か月期間）の営業利益は149億円と前年同期比+73.7%.

- 売上高：8,109億円（前期比：+19.5%、為替影響除く：+19.4%）
- 粗利益率：56.8%（前期比：+1.0ppt）
- 営業利益：1,425億円（前期比：+42.4%）/　営業利益率：17.6%（前期比：+2.8ppt）
- 当期純利益：987億円（前期比：+54.7%）

カテゴリー業績：全カテゴリーで増収. 特に、SPSとOTは40%超の大幅増収.

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率　23.7%　前期比+2.1ppt
  高付加価値商品にフォーカスし増収増益. 特に、アシックスジャパン、東南・南アジアで大幅に成長.
  （売上高：前期比+11.2%、為替影響除く：+11.2%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率　29.3%　前期比+2.0ppt
  全地域で増収. 特に、北米、オセアニアで50%を超える成長.
  （売上高：前期比+43.6%、為替影響除く：+42.8%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率　37.7%　前期比+3.7ppt
  全地域で増収. 特に、インバウンド需要の強い日本に加えて、欧州、中華圏が牽引.
  （売上高：前期比+43.0%、為替影響除く：+43.2%）

5

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2025年度の決算サマリーです。

売上高は8,109億円と、初めて8,000億円の大台を突破。
営業利益は1,425億円となり、売上・営業利益ともに4年連続で過去最高を更新しました。
粗利益率は、前期比1ポイント改善の56.8%。
営業利益率も17.6%と前期から大きく伸長しています。

なお、第4四半期3か月期間の営業利益は149億円で、
前年同期比約74%のプラスとなりました。

カテゴリー別では、パフォーマンスランニングは高付加価値商品にフォーカスしたことで
プラス11%を超える増収。
好調なスポーツスタイル及びオニツカタイガーは、
全地域で成長し、40%を超える大幅増収となりました。

いずれも高い水準でカテゴリー利益率が推移しており、
パフォーマンスランニングは約24%、スポーツスタイルは約30%、
オニツカタイガーでは約38%となっております。

2025年度 通期決算サマリー（2）

地域業績：全地域において増収増益を達成、営業利益率では特にアシックスジャパン、北米、欧州で大きく伸長.

- アシックスジャパン：営業利益率30.0%　前期比 +6.5ppt
  オニツカタイガーのインバウンド好調継続により粗利益率の良化、販管費率低減もあり営業利益率が更に伸長.
  （売上高：前期比+34.7%）
  インバウンド売上高は474億円となり、前期の257億円からほぼ倍増となる増収
- 欧州：営業利益率16.3%　前期比+2.2ppt
  スポーツスタイルの大幅な増収、オニツカタイガーの新規出店効果、リテールでの収益性改善もあり営業利益率が更に伸長
  （売上高：前期比+25.9%、為替影響除く：+22.1%）

在庫効率：受注が好調なSS26シーズン在庫を大きく積み増したものの、連結DIOは前期末比1日増加に抑制.

株主還元：期末配当は開示予想通り．なお、2026年度の年間配当は大幅増配の38円を予想.

- 2025年12月期の期末配当は開示予想通り16円、年間配当は28円.
- 2026年12月期の年間配当予想は38円（中間18円・期末20円）．過去最高となる10円増配を計画（株式分割考慮後）.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

地域ごとの業績です。
全地域において増収増益を達成しました。
特に、インバウンドが好調なアシックスジャパンや、
スポーツスタイルが大幅増収となった欧州において
営業利益率がさらに伸長しました。

次に、在庫効率です。
2026年春夏商品の好調な受注に対して、第4四半期に在庫を積み増したものの、
平均棚卸資産回転期間は前期末比で1日増加の152日に抑制できました。
発注管理強化など在庫効率を上げる取組みに引き続き注力していきます。

最後に、株主還元についてです。
2025年の期末配当は開示予想通り16円、年間では28円となります。
2026年の年間配当は過去最高の増配額となる10円プラスの38円を予想しています。

2026年度 通期業績予想

- 2026年度も全カテゴリーで増収、特にP.RUN、SPSが牽引し、売上高は前期比+17.2%増収の9,500億円、営業利益は同+20.0%増益の1,710億円を見込む．売上高および各段階利益はいずれも引き続き過去最高となる見込み．
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、中間配当18円、期末配当20円の通期38円を見込む．

（単位：億円）	FY25 実績	FY26 予想	FY25比 増減率	（ご参考） 為替影響除く増減率
売上高	8,109	**9,500**	+17.2%	+16.7%
営業利益	1,425	**1,710**	+20.0%	+19.7%
営業利益率	17.6%	**18.0%**	+0.4ppt	-
経常利益	1,392	**1,650**	+18.5%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	987	**1,100**	+11.4%	-

配当金	中間	期末	通期
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円
2026年12月期	18.0円	20.0円	38.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2025年12月期	150.32	169.09	20.93
2026年12月期	150.00	170.00	21.00

7

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度の連結業績予想です。

売上高は9,500億円、営業利益は1,710億円で、
いずれも過去最高を更新する見込みです。

営業利益率もさらに良化し、18%を予想しています。

トップアスリートの活躍とサポート

- バレンシアで開催されたマラソン大会でアシックスのサポート選手が好記録で優勝.
- 新年の駅伝大会でMETASPEEDシリーズを着用した選手が活躍.
- 2026年以降は世界で戦うアスリートのサポートを一層強化.

サポートアスリートの活躍（バレンシアでの大会の結果）

優勝

2:14:00（女子マラソン世界歴代４位）
Joyciline Jepkosgei選手（ケニア）
（ジョイシリン・ジェプコスゲイ）

優勝

2:02:24（男子マラソン世界歴代８位）
John Korir選手（ケニア）
（ジョン・コリル）

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

新年の駅伝大会における選手の活躍

早稲田大学

三菱重工

トップアスリートのサポート

世界で戦うトップアスリートの挑戦を支えるため、インフラ整備やインテグリティ教育など包括的なサポートを強化．パートナーシップから得られる知見をスピード感をもってプロダクト開発へ還元

CHOJO CAMP施設のリノベーション

AIU（Athletics Integrity Unit）とのアンチドーピング講習会

8

続いて、トップアスリートの活躍とアシックスのサポートの取組みについてご紹介します。

直近では、昨年12月にスペイン・バレンシアで開催されたマラソン大会において、
男女ともに、アシックスのサポート選手が好記録で優勝を飾りました。

また、国内では、新年の駅伝大会でMETASPEEDを着用した選手たちが活躍しました。

2026年以降は、世界で戦うトップアスリートのサポートをより一層強化していきます。

デジタルに関する取組み

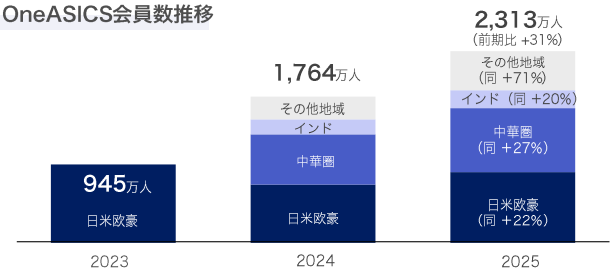
- OneASICS会員数は日米欧豪のみならず、中華圏・インド・その他地域でも順調に増加.
- レース登録会社を通じて、グローバルでデジタルを活用したアシックスならではのランニング体験を提供し、ブランド体験価値向上を図る.
  日本では「富士山マラソン2025」において、アールビーズが海外ランナー向けにエントリー受付、多言語での運営及び特別ツアーの提供等、充実した施策を実施.

EC売上高の推移

	2023年	2024年	2025年	24 vs 25
EC 売上高	1,070億円	1,371億円	1,484億円	+8.3%*

*戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと+26.3%

OneASICS会員数推移



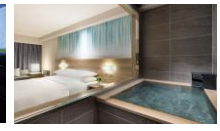
2023年Q4以前は、日米欧豪を中心とするプログラムの会員数を集計。
2024年Q1以降は、OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数も含めて集計。
加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施。

富士山マラソン2025における取組み

(単位：人)	国内	インバウンド	TOTAL
フルマラソン42.195km	2,174	2,721	4,895
河口湖周辺17km	620	3,581	4,201
ファンラン 10km	412	1,360	1,772
TOTAL	3,206	7,662	10,868

特別ツアー

リゾートホテル宿泊／送迎／アメニティ／VIPスペース



©2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

デジタルに関する取組みです。

EC売上高及びアシックス独自の会員プログラムであるOneASICSの会員数は、
スライド左側にお示しした通り、順調に増加しています。

グローバルに広がるレース登録会社を通じて、
アシックスならではのランニング体験を提供し
ブランド体験価値の向上を図ってまいります。

日本では、昨年開催された「富士山マラソン2025」において、
グループ会社のアールビーズが海外ランナー向けの様々なサービスを提供するなど、
着実に取組み事例が増えてきています。

YEAR OF ASIA

- 秋に開催予定の愛知・名古屋2026大会に向け、アシックスブランドを訴求.
- ランニング市場が拡大しているアジアにおいて、各国での売上高USD100M超えの早期達成を目指す.

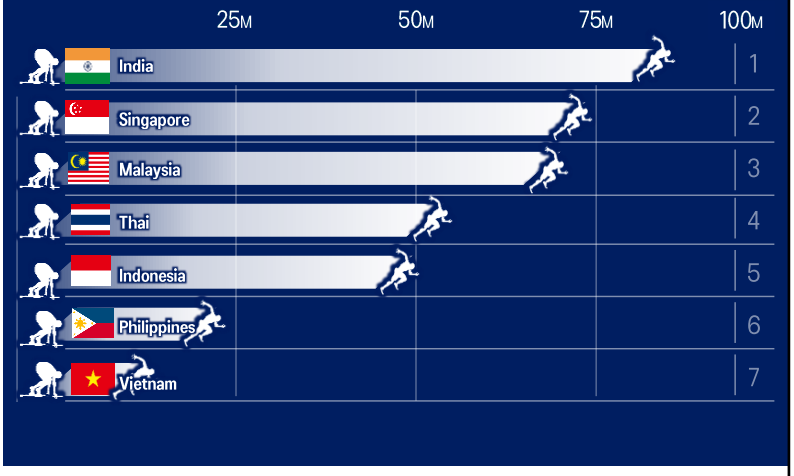
アジアで開催予定の主要な大会（2026）

※青字：アシックスがサポートする大会

- 8月頃：マラソン大会（インドネシア・バリ）
- 9/19～10/4：愛知・名古屋2026大会（名古屋）
- 10/4：Kuala Lumpur Marathon（マレーシア）
- 10月頃：マラソン大会（ベトナム・ハノイ）
- 10/18～24：愛知・名古屋アジアパラ競技大会（名古屋）
- 11月頃：マラソン大会（タイ・コラート）
- 11/29：Rock n Roll Manila（フィリピン）

東南・南アジア各国の売上高の状況（2025）

単位：USD



10

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年は、「Year of ASIA」を掲げています。

今年開催される愛知・名古屋2026大会のモメンタムも活用しながら、
アジアでの更なるブランド向上に力を尽くします。

特に、昨今ランニング市場が急拡大している東南・南アジアにおいて、
より一層成長を加速させ、
各国での売上高100ミリオンドルの早期達成を目指します。

サプライチェーン改革の進捗

- 需要精査及び、販売データに基づく発注・在庫管理の強化を行い、ブランド毀損に繋がる余剰在庫を防止.
- デジタルも活用し、需給オペレーションの標準化と安定性を高め、今後の持続的な成長を支える基盤を構築.

2025年の取組み実績

1. 製品ライフサイクルに応じた発注・在庫管理の強化
   - 特に、アウトレット向け旧型製品の消化状況を踏まえた発注調整の強化
2. 生産×販売データの連動性強化
   - 生産・販売計画の整合を定期的に検証し、計画精度を向上.
3. 物流センターの省人化
   - 独・豪の自社物流センターへ自動化設備を導入し、保管効率向上および入出庫業務を効率化

2026年の取組み予定

1. 安定供給体制の更なる強化
   - 閑散期を最大活用し、通年での需要変動により柔軟に対応する供給基盤へ
2. 業務プロセスのグローバル標準化
   - 地域間で計画系・実行系業務プロセスを統一し、次年度以降のデジタル移行準備を完了.

11

© 2026ASICS Corporation. All Rights Reserved.

(背景: ASICS OCEANIA 物流センター内 自動倉庫設備)

2024年から本格的に着手したサプライチェーン改革の進捗をご報告します。

2025年は、製品ライフサイクルにあわせた発注・在庫管理の強化や、
計画精度を上げる取組みを進め、
ブランド毀損につながる余剰在庫と販売機会ロス防止に取組みました。

2026年は、年間を通じて安定供給できる体制を更に強化し、
地域間で異なる業務プロセスをグローバルで統一していきます。

日本地域におけるインバウンド売上の状況

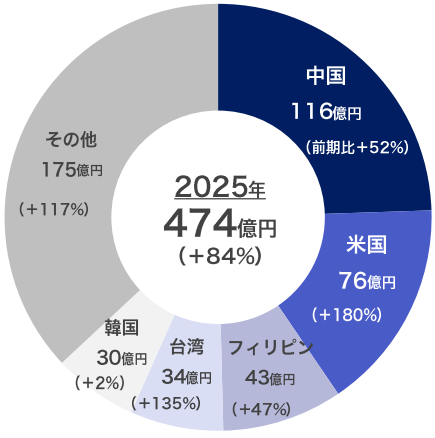
asics sound mind, sound body

- 2025年のインバウンド売上は前期比+84%．うちアシックスが+56%、オニツカタイガーが+89%.
- 購入客の地域分布の多様化が進み、特に米国からの顧客に対する売上は+180%の増加.

2025年の実績及び地域別構成比

単位：億円

	2024年	2025年	前期比
全体	257	474	+84%
アシックス	38	59	+56%
オニツカタイガー	219	415	+89%



12

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

日本地域におけるインバウンド売上の状況についてご説明します。
2025年のインバウンド売上は前期比プラス84%となりました。
顧客の地域分布の多様化が進み、特に米国は前年の約3倍にまで拡大しました。

1月のインバウンド売上も好調に推移しています。

アシックスは2025年を通じて、中期経営計画のもとで進めてきた取組みを、
着実に前進させてきました。
一方で、2026年は、これまでの成長を土台としながら、アシックスが業界の一歩先を行く存在、
“Ahead of the Game” として、革新をリードしていくフェーズに入る一年だと考えています。

現在、私たちは2035年を見据えたビジョンについて、経営として議論を重ね、
策定を進めています。
この長期ビジョンを起点に、次期中期経営計画を固め、
2026年第4四半期に発表させていただく予定です。

変化のスピードが速い環境のなかで、次のアシックスの成長ステージに挑戦できることを、
社長として大変ワクワクしながら捉えています。

私からの説明は以上です。続いて、小林より決算の詳細について説明します。

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. 連結業績予想

7. IRカレンダー

Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2025年度 概要

売上高	8,109億円（前期 6,785億円）	前期比　：+1,324億円 +19.5% 為替影響除く：+1,316億円 +19.4%

過去最高．全カテゴリー、全地域で成長を継続．前期比+19.5%.

- パフォーマンスランニングは、高付加価値商品にフォーカスし増収増益．特に、アシックスジャパン、東南・南アジアで大幅に成長.
- スポーツスタイルは、全地域で増収．特に、北米、オセアニアで50%を超える成長.
- オニツカタイガーは、全地域で増収. 特にインバウンド需要の強い日本に加えて、欧州、中華圏が牽引.

営業利益	1,425億円（前期 1,001億円）	前期比　：+424億円 +42.4% 為替影響除く：+422億円 +42.2%

過去最高．前期比 40%超の大幅増益.

- 粗利益率は56.8%．仕入為替の悪化があるものの、高付加価値製品への注力などが奏功し、前期から+1.0ppt改善.
- 営業利益率は前期の14.8%から17.6%へ（+2.8ppt）.

当期純利益	987億円（前期 638億円）	前期比　：+349億円 +54.7% 為替影響除く：+355億円 +55.6%

過去最高．前期比 50%超の大幅増益.

- 上記増収増益により増益.

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

小林でございます。

概要については、後ほど、ご覧いただければと思います。

連結損益計算書

再掲

（単位：億円）

年間業績（1-12月）	FY24 実績	FY25 実績	前期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	6,785	8,109	+1,324 +19.5%
売上総利益	3,788	4,606	+818 +21.6%
売上総利益率	55.8%	56.8%	+1.0ppt
販管費	2,787	3,181	+394 +14.1%
販管費率	41.0%	39.2%	△1.8ppt
人件費	863	961	+98 +11.4%
広告宣伝費	520	595	+75 +14.2%
広告宣伝費率	7.7%	7.3%	△0.4ppt
賃借料	131	158	+27 +19.8%
減価償却費	203	249	+46 +22.8%
その他経費	1,070	1,218	+148 +13.8%
営業利益	1,001	1,425	+424 +42.4%
営業利益率	14.8%	17.6%	+2.8ppt
経常利益	926	1,392	+466 +50.4%
特別損益	6	△5	△11
親会社株主に帰属する当期純利益	638	987	+349 +54.7%

	FY24 実績	FY25 実績	増減額	増減率
海外売上高	5,450	6,524	+1,074	+19.7%
海外比率	80.3%	80.5%	-	+0.2ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,316	+19.4%
	連結営業利益増減	+422	+42.2%
	連結純利益増減	**+355**	+55.6%

平均為替レート（円）	FY24 実績	FY25 実績
1ドル	151.36	150.32
1ユーロ	163.66	169.09
1人民元	21.06	20.93

15

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは連結損益計算書となります。

連結売上高は、過去最高の8,109億円と、前期比1,324億円の増収、
営業利益は1,425億円で前期比424億円の増益でした。

売上総利益率は、仕入為替の悪化や米国関税の影響があったものの、
高付加価値製品への注力などが奏功し、
前期比1ポイントプラスの56.8%となりました。

連結損益計算書（3ヶ月期間）

asics sound mind, sound body

（単位：億円）

第4四半期（10-12月）	FY24 Q4 実績	FY25 Q4 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,531	1,859	+328 +21.4%
売上総利益	879	1,075	+196 +22.2%
売上総利益率	57.5%	57.8%	+0.3ppt
販管費	793	926	+133 +16.6%
販管費率	51.9%	49.8%	△2.1%
人件費	244	278	+34 +14.1%
広告宣伝費	156	170	+14 +8.1%
広告宣伝費率	10.2%	9.1%	△1.1ppt
賃借料	25	45	+20 +77.1%
減価償却費	57	75	+18 +30.7%
その他経費	311	358	+47 +15.1%
営業利益	86	149	+63 +73.7%
営業利益率	5.6%	8.0%	+2.4ppt
経常利益	44	147	+103 +242.3%
特別損益	△32	△25	+7
親会社株主に帰属する四半期純利益	△11	124	+135 -

	FY24 Q4 実績	FY25 Q4 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,187	1,461	+274	+23.1%
海外比率	77.5%	78.6%	-	+1.1ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+244	+15.9%
	連結営業利益増減	+48	+55.8%
	連結純利益増減	+130	-

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,083	1,944	2,223	1,859
営業利益	445	366	465	149
営業利益率	21.4%	18.8%	20.9%	8.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	316	220	327	124

16

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

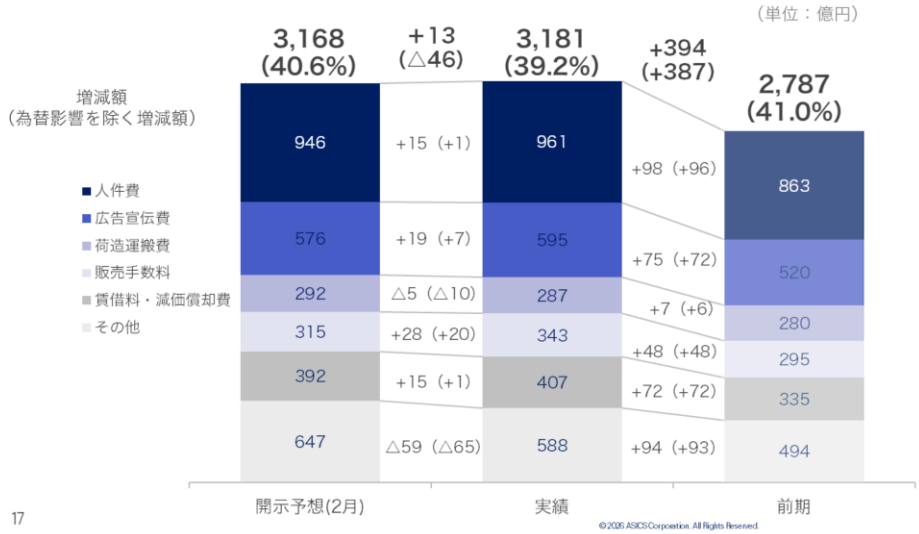
次に、直近3ヶ月期間の損益の状況です。

売上高は、全カテゴリーで好調に推移し、前年同期比で328億円の増収。
21%のプラス成長となり、為替影響を除くと約16%の増収でした。

営業利益は149億円で63億円の増益。
第4四半期については2024年に黒字化しましたが、更に改善しています。

販管費の状況

- 開示予想(2月)比は、増収に加え、主にコスト削減取組による荷造運搬費の減少、その他経費の減少により、売上高販管費率は1.4ppt低下.
- 前期比は、為替影響（+7億円）を除いて387億円の増加、販管費率は1.8ppt低下の39.2%.
- 販管費増加の主要因はプロフィットシェアなどの人的資本投資の強化による人件費、デジタル施策やWS向け施策関連の広告宣伝費、及び売上連動コストの増加.



平均為替レート（円）	FY25 開示予想(2月)	FY25 実績	FY24 実績
1ドル	150.00	150.32	151.36
1ユーロ	160.00	169.09	163.66
1人民元	20.00	20.93	21.06

17

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

販管費の状況です。

販管費率は39．2%となりました。

計画対比では、増収に加え、コスト削減の取組みによる荷造運搬費の減少等により
販管費率は低下しました。

また、前期比でも、プロフィットシェア等の人的資本投資の強化や、
デジタルマーケティング施策等の広告宣伝費の増加があったものの、
コストコントロールの取組みも奏功し、販管費比率は良化しております。

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. 連結業績予想

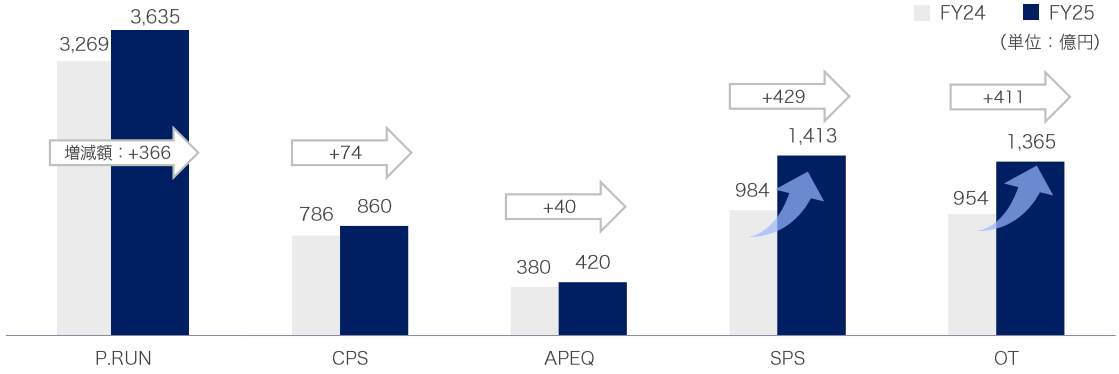
7. IRカレンダー

Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは主に北米において戦略的な絞り込みがあるものの、高付加価値商品にフォーカスし増収　特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅増収.
- SPSは全地域で増収.　特に、北米とオセアニアで50%を超える大幅増収.
- OTは全地域で増収.　特に、インバウンド需要の強い日本に加えて欧州において60%を超える大幅増収.



	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT
増減率	+11.2%	+9.4%	+10.5%	+43.6%	+43.0%
為替影響を除く	+11.2%	+9.3%	+10.1%	+42.8%	+43.2%

19

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

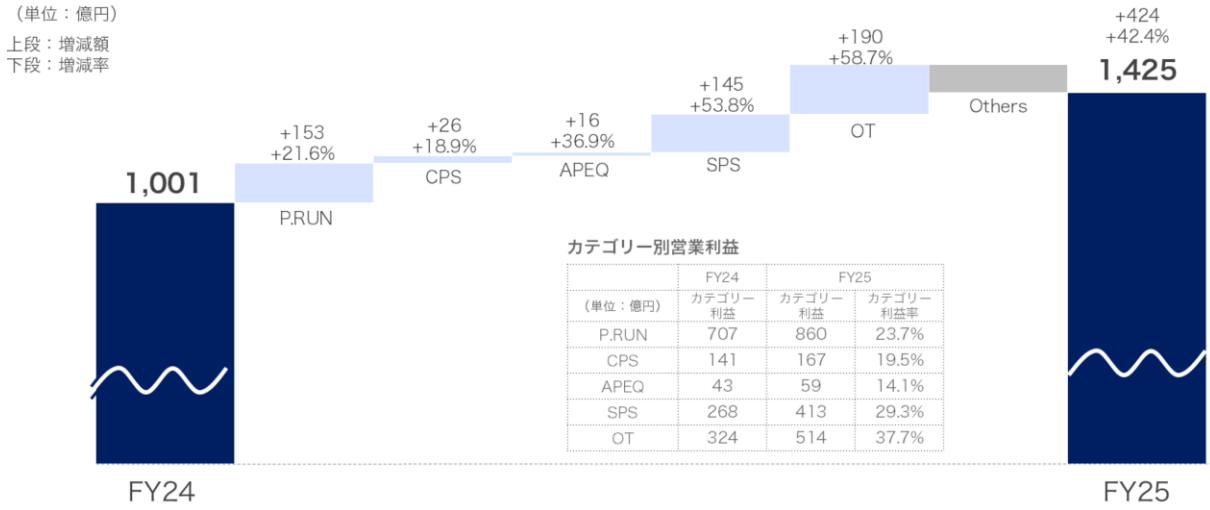
カテゴリー別売上高です。

パフォーマンスランニングでは、
戦略的な絞込みを行いつつ、高付加価値商品にフォーカスし、
二桁の増収となりました。

また、スポーツスタイル、オニツカタイガーは40%を超える大幅増収となり、
強いモメンタムを継続しています。

連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 全カテゴリーで増益. 特に、SPS、OTでは50%超の大幅増益.
- カテゴリー利益率は、全カテゴリーで良化. SPSでは約30%、OTでは約38%と高水準を維持.



カテゴリー別営業利益

（単位：億円）	FY24 カテゴリー利益	FY25 カテゴリー利益	FY25 カテゴリー利益率
P.RUN	707	860	23.7%
CPS	141	167	19.5%
APEQ	43	59	14.1%
SPS	268	413	29.3%
OT	324	514	37.7%

20

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別の営業利益内訳です。

全カテゴリーで増益。カテゴリー利益率も良化しています。
特にスポーツスタイル、オニツカタイガーは50%を超える大幅増益となり、
かつ高い利益率を維持しています。

カテゴリーごとの詳細については後程ご説明します。

カテゴリー外コストおよびカテゴリー別損益

- **カテゴリー外コストは、**主にオフィス移転に伴う賃料および減価償却費等で増加するも、**前期比+5.7%と増収率の範囲内でコントロール.**

（単位：億円）

	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	3,635 (+366)	860 (+74)	420 (+40)	1,413 (+429)	1,365 (+411)	416 (+4)	8,109 (+1,324)
カテゴリー利益	860 (+153)	167 (+26)	59 (+16)	413 (+145)	514 (+190)		
カテゴリー外コスト							520 (+28)
連結営業利益							1,425 (+424)

（ ）内は前期比

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

本社経費をはじめとするカテゴリー外コストについては、
5．7%の増加となっており、
増収率19．4%の範囲内でコントロールしています。

パフォーマンスランニング（P.RUN）

（単位：億円）

年間業績（1-12月）	FY24	FY25	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	3,269	3,635	+366	+11.2%
為替影響除く		3,634	+365	+11.2%
カテゴリー利益	707	860	+153	+21.6%
カテゴリー利益率	21.6%	23.7%	-	+2.1ppt

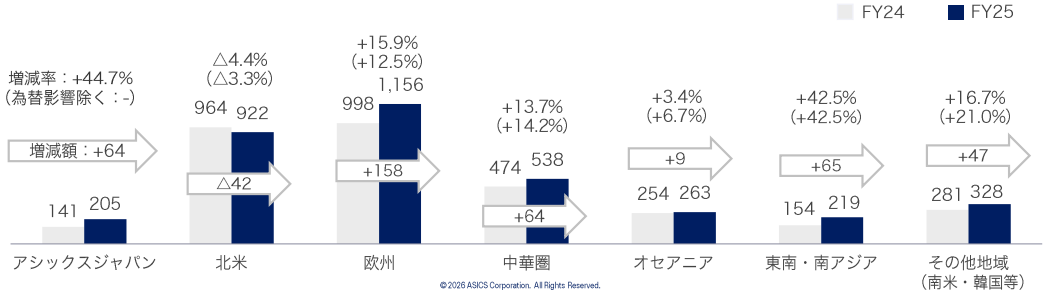
3ヶ月期間（10-12月）	FY24Q4	FY25Q4	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	686	792	+106	+15.4%
為替影響除く		748	+62	+9.0%
カテゴリー利益	93	135	+42	+45.2%
カテゴリー利益率	13.6%	17.1%	-	+3.5ppt

GEL-NIMBUS 28
足を入れた瞬間にまるで靴下のように足全体をやわらかくつつみ込み、
軽やかでやわらかなクッション体験を提供
前作より約20g軽量化したことで、優れたクッション性を維持しながら
長い距離でもスムーズに走れるよう設計

asics sound mind, sound body

ポイント

- 売上高は、前期比+11.2%の増収.
- 好調なBOUNCEモデルが引き続きP.RUNカテゴリーを牽引.
- 第４四半期３ヶ月期間の売上高は、主に中華圏、東南・南アジア等での伸長により増収.
- 粗利益率は、高付加価値商品へのフォーカスにより、53.6%（前期比+0.6ppt）と改善.
- 北米では戦略的な絞り込みがあるものの、ランニング専門店向け売上は前期比+23.8%の増収（為替影響除く）. 引き続き主要な取引先との連携を強化.
- 主要マラソン大会でのシェアNo.1獲得に向けて、SPEED・BOUNCEモデルを強化するとともに積極的なマーケティングを展開.
- TRAIL・CUSHION・STABILITYモデルについても製品イノベーションを推進.



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

パフォーマンスランニングです。

売上高は3,635億円で、前期比11%プラスの増収となりました。

アシックスジャパン、東南・南アジアで40%を超える成長。
北米では戦略的な絞り込みをおこなっているものの、
注力しているランニング専門店向けの売上は約24%増加しました。

粗利益率は、高付加価値商品へのフォーカスにより、0.6ポイント良化の53.6%。

その結果、カテゴリー利益は860億円で153億円の増益、
カテゴリー利益率も23.7%と大幅に良化しました。

パフォーマンスランニング（P.RUN） ラインナップ

- ビギナーランナーからシリアスランナーまでを対象としたフルラインナップで商品を展開.

STABILITY	CUSHION	BOUNCE	SPEED	TRAIL
GEL-KAYANO 32 ￥22,000 / $165 / €200	GEL-NIMBUS 28 ￥22,000 / $170 / €200	MEGABLAST ￥27,500 / $225 / €240	METASPEED RAY ￥33.000 / $300 / €300	METAFUJI TRAIL ￥29,700 / $250 / €250
GT-2000 14 ￥16,500 / $140 / €160	GEL-CUMULUS 28 ￥16,500 / $145 / €160	SUPERBLAST 2 ￥24,200 / $200 / €220	METASPEED SKY TOKYO METASPEED EDGE TOKYO ￥29,700 / $270 / €270	TRABUCO MAX 5 ￥19,800 / $170 / €180
		SONICBLAST ￥22,000 / $180 / €190	S4+ YOGIRI ￥22,000 / $200 / €210	
GT-1000 14 ￥13,200 / $110 / €130	GEL-PULSE 17 ￥13,200 / $105 / €110	NOVABLAST 5 ￥16,500 / $150 / €150	MAGIC SPEED 5 ￥19,800 / $180 / €190	TRABUCO 14 ￥17,600 / $145 / €160

23

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

Price ￥￥:tax included / $:tax excluded / €:tax included　2月13日時点

パフォーマンスランニングの商品ラインナップをご覧ください。

特に、中央のBOUNCEモデルが好調で、カテゴリーの成長をけん引しています。

主要マラソン大会でのシェアNo.1獲得という目標に向け、
SPEED・BOUNCEモデルの強化と、積極的なマーケティングを展開していきます。

また、TRAIL・CUSHION・STABILITYモデルについても製品イノベーションを推進します。

コアパフォーマンススポーツ（CPS）

（単位：億円）

年間業績（1-12月）	FY24	FY25	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	※786	860	+74	+9.4%
為替影響除く		859	+73	+9.3%
カテゴリー利益	141	167	+26	+18.9%
カテゴリー利益率	17.9%	19.5%	-	+1.6ppt

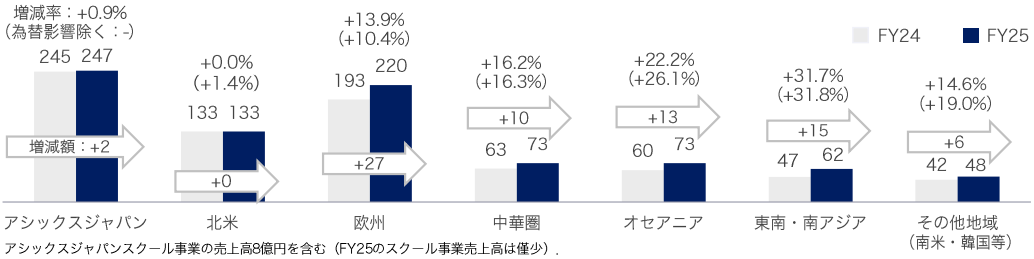
3ヶ月期間（10-12月）	FY24Q4	FY25Q4	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	137	164	+27	+19.5%
為替影響除く		155	+18	+13.2%
カテゴリー利益	9	13	+4	+44.4%
カテゴリー利益率	6.8%	8.5%	-	+1.7ppt

SOLUTION SPEED FF 4

スピードとクイックネスの融合 さらに高次元のスピードモデル

ポイント

- 売上高は、スクール事業の縮小（※）などがあったものの、テニス、バレーボール、インドアスポーツなどの伸長により増収.
- 第４四半期３ヶ月期間の売上高は、主にアシックスジャパン、中華圏、オセアニア、東南・南アジアで増収.
- 粗利益率は、収益性の高いテニス、バレーボールの売上増加が寄与し、47.5%（前期比+1.0ppt）と改善.
- カテゴリー利益は、特にアシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアで増益.
- テニスにおける契約選手の主要国際大会での着用を起点に各種メディア露出、主要パートナーとの協業を通じてブランド価値向上を推進.
- インドアスポーツを次の成長カテゴリーと位置づけ、バレーボールは米国を中心としたグローバル市場で、バドミントンは東南アジアで、売上拡大を図る.



※FY24の売上高は、アシックスジャパンスクール事業の売上高8億円を含む（FY25のスクール事業売上高は僅少）.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

コアパフォーマンススポーツです。

売上高は860億円で、前期比で約9%の増収となりました。

アシックスジャパンにおけるスクール事業の縮小等があったものの、
グローバルでテニス、バレーボールなどが伸長。

カテゴリー利益についても、増収及び粗利益率の改善により増益となりました。

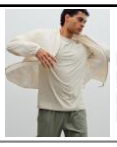
インドアスポーツを次の成長カテゴリーと位置づけ、
バレーボールは米国を中心としたグローバル市場で、
バドミントンは東南アジアで売上拡大を図ります。

アパレル・エクィップメント（APEQ）

（単位：億円）

年間業績（1-12月）	FY24	FY25	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	380	420	+40	+10.5%
為替影響除く		419	+39	+10.1%
カテゴリー利益	43	59	+16	+36.9%
カテゴリー利益率	11.4%	14.1%	-	+2.7ppt

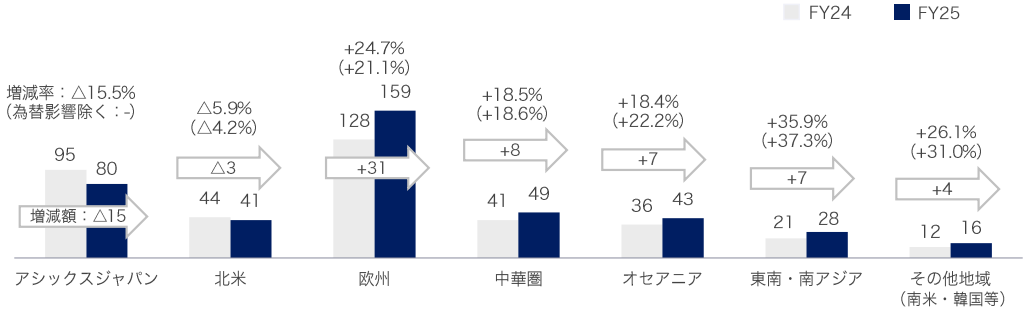
3ヶ月期間（10-12月）	FY24Q4	FY25Q4	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	89	98	+9	+10.0%
為替影響除く		94	+5	+4.6%
カテゴリー利益	7	4	△3	△42.9%
カテゴリー利益率	7.8%	4.4%	-	△3.5ppt



ACTIADAPT PACKABLE JACKET
超軽量で肌あたりの良い立毛素材と高い通気性を両立したACTIADAPT PACKABLE JACKET. 運動後も快適さをキープし、アクティブな日常を支える一着.

ポイント

- 売上高は、ランニング商品が好調な欧州に加え、中華圏、オセアニア、東南・南アジアでも増収し、カテゴリー全体で前期比+10.5%の増収.
- 第4四半期３ヶ月期間の売上高は、主にオセアニア、中華圏での伸長により増収.
- 粗利益率は、アシックスジャパンにおける野球（アパレル・用具）事業及びスクール事業の縮小などもあり、54.2%（前期比+1.9ppt）と改善.
- カテゴリー利益は、欧州の大幅増収により増益.
- 運動前後のライフスタイルに寄り添う新しいコレクション ‘PERFORMANCE LIFE’（P. Life）を展開.



25

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

アパレル・エクィップメントです。

ランニングアパレルが好調な欧州に加え、
中華圏、オセアニア、東南・南アジアでも増収となり、
全体で前期比10％プラスの成長となりました。

アシックスジャパンにおけるスクール事業等の縮小により
粗利益率は1．9ポイント良化し、54．2％。
カテゴリー利益率も14％を超え、収益性が着実に高まっています。

スポーツスタイル（SPS）

（単位：億円）

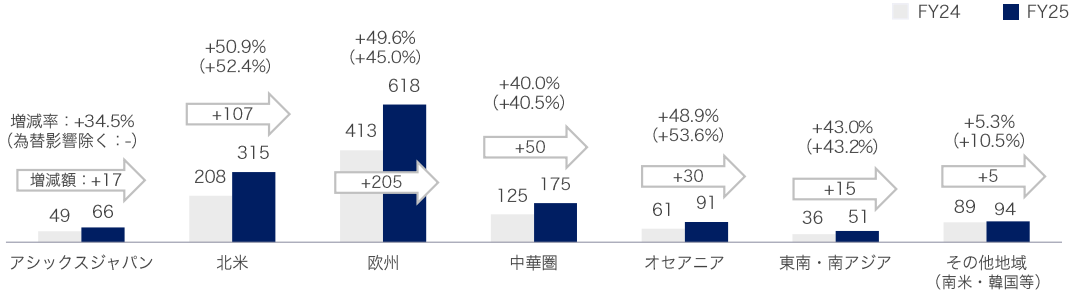
年間業績（1-12月）	FY24	FY25	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	984	1,413	+429	+43.6%
為替影響除く		1,405	+421	+42.8%
カテゴリー利益	268	413	+145	+53.8%
カテゴリー利益率	27.3%	29.3%	-	+2.0ppt

3ヶ月期間（10-12月）	FY24Q4	FY25Q4	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	233	322	+89	+38.3%
為替影響除く		303	+70	+29.8%
カテゴリー利益	57	80	+23	+40.4%
カテゴリー利益率	24.7%	24.8%	-	+0.1ppt

GEL-NYC 2.0 SSHS
前作からデザイン性、快適性を更にアップデートさせたGEL-NYC2.0のデビュー作. オーストラリアのHALSTUDIOSをパートナーに迎えたシグネチャーアイテム

ポイント

- 売上高は、WSチャネルでの取扱い店舗数の増加及び取扱いアイテムが増加したことにより前期比で大幅増収.
- 第4四半期３ヶ月間の売上高も、VINTAGE TECHのGEL-1130やGEL-KAYANO14やMODERNのGEL-NYCが好調を維持したことにより大幅成長.
- 粗利益率は50.7%. 前期比△0.8pptとマイナスも、カテゴリー利益は、特に北米と欧州の増収と効率的なマーケティング施策により増益.
- GEL-NYC2.0を皮切りに、多様な新製品を投入.
  各種マーケティング施策も更に強化の上、ブランド体験価値向上を図る.



26

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

スポーツスタイルです。

売上高は全地域で増加し、全体で1,413億円、40%を超えるプラス成長となりました。

粗利益率は、ホールセール比率が上がったことで、
前期比0. 8ポイントマイナスの50. 7%となったものの、
カテゴリー利益率は29. 3%となり前期より良化しています。

スポーツスタイル（SPS） プロダクトポートフォリオ

- 複数の商品群を持つことで、トレンドサイクルの早いスニーカー市場における柔軟な機会創出とリスクに対応.
- プレミアムな方向にシフトし、コラボレーションなどによる差別化やアパレルコレクションを活用したスタイリング提案を実施.
- 在庫コントロールにも注力し、高い利益率を実現.

VISIBLE TECH	MODERN	VINTAGE TECH	CLASSICS	SKATEBOARDING
テクノロジーとスタイルの融合	アーカイブの再構築	2000年代アーカイブ	90年代アーカイブ	スケートボードに向き合った テクノロジーとスタイル
 GEL-KINETIC 2.0 ¥32,000 / $250 / €240	 GEL-NYC 2.0 ¥19,000 / $140 / €150	 GEL-KAYANO 14 ¥20,000 / $160 / €170	 GEL-LYTE III ¥15,000 / $120 / €-	 GEL-FLEXKEE PRO 2.0 ¥18,000 / $135 / €160
 GEL-QUANTUM 360 Ⅰ AMP ¥22,000 / $180 / €185	 GEL-NUNOBIKI ¥15,000 / $100 / €110	 GEL-SD-LYTE ¥18,000 / $150 / €160	 SKYHAND OG ¥13,000 / $100 / €110	 JAPAN PRO ¥13,000 / $105 / €110

コラボレーション製品

 ASICS X Doublet GEL-QUANTUM 360 1 AMP ¥34,000 / $260 / €-	 ASICS X HAL STUDIOS GEL-NYC 2.0 ¥23,000 / $170 / €170	 ASICS X MIYAKE DESIGN STUDIO HYPER TAPING ¥30,000 / $220 / €230	 ASICS X mita sneakers GEL-LYTE ∞ ¥23,000 / $175 / €-	 ASICS X Gino Iannucci LEGGEREZZA FB ¥12,000 / $120 / €110

※製品の時代背景、リテール店頭表現･ECでのお客様への案内を踏まえSILO名を再構成
Price ¥¥:tax included / $:tax excluded / €:tax included　2月13日時点

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

27

スポーツスタイルのプロダクトポートフォリオです。

中央のVINTAGE TECH、続いてその左側のMODERNサイロが好調を維持し、
カテゴリーの成長をけん引しています。

オニツカタイガー（OT）

（単位：億円）

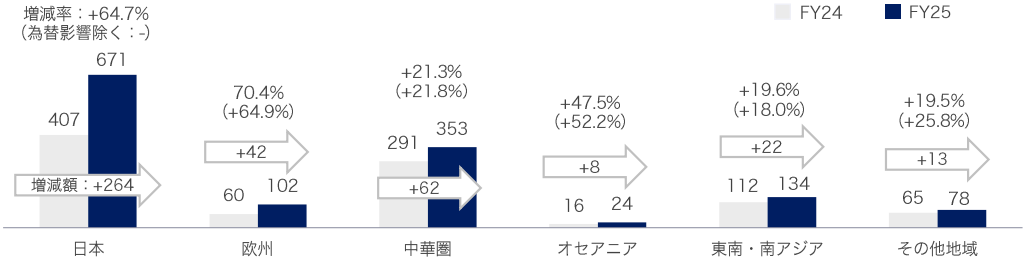
年間業績（1-12月）	FY24	FY25	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	954	1,365	+411	+43.0%
為替影響除く		1,366	+412	+43.2%
カテゴリー利益	324	514	+190	+58.7%
カテゴリー利益率	34.0%	37.7%	-	+3.7ppt

3ヶ月期間（10-12月）	FY24Q4	FY25Q4	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	269	366	+97	+36.2%
為替影響除く		360	+91	+33.8%
カテゴリー利益	64	121	+57	+89.1%
カテゴリー利益率	23.9%	33.1%	-	+9.2ppt

WINTER HEAVEN
フェイクファーを贅沢にあしらい、温かさとファッション性を両立した
3WAYスタイルのスニーカーブーツ.

ポイント

- 売上高は、インバウンド売上が好調な日本を始めとし、全地域で２桁以上の増収.
- 第４四半期３ヶ月期間の日本におけるインバウンド売上は、一部地域からの顧客が減少したものの、127億円を記録し、四半期ベースでは過去最高を更新（前期比+57.1%）.
- 粗利益率は74.6%（前期比+1.8ppt）と引き続き高水準で推移.
- 1月、ブランド初となる専用生産拠点「オニツカイノベーティブファクトリー」を鳥取県に開設. 日本のクラフトマンシップと地域活性化を実現し、プロダクト価値向上を追求.
- ２月、AW26ミラノファッションウィークに参加し、更なるブランド価値向上を図る.
- 2025年はバルセロナ、ロンドン、パリにおいて旗艦店を出店.
  2026年も大都市での旗艦店の出店を予定しており、更なるブランド力の強化を図る.



28

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

オニツカタイガーです。

売上高は前期比プラス40%超の1,365億円でした。
インバウンドが好調な日本をはじめとして、全地域で2桁以上の増収となっています。

粗利益率は74. 6%と前年からさらに良化。
カテゴリー利益率は37. 7%で、全カテゴリーで最も高い利益率となっています。

オニツカタイガー（OT） 店舗およびプロダクトポートフォリオ

Barcelona Paseo de Gracia (スペイン)

London Covent Garden (イギリス)

Paris Champs-Élysées (フランス)

Onitsuka Tiger

MEXICO 66

￥16,500 / €160

MEXICO 66 TGRS

￥17,600 / €170

ONITSUKA TIGER

TIGER DERBY

￥38,500 / €305

TIGER FAIRIA

￥58,300 / €510

ONITSUKA

DERBY

￥49,500 / €380

BIT LOAFER

￥55,000 / €490

29

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは、2025年に欧州で新規オープンした店舗です。
2026年も、このようなフラッグシップストアを大都市に出店していく予定です。

1月には「オニツカイノベーティブファクトリー」を鳥取県に開設、
プロダクト価値の追求と、更なるブランド価値の向上を図ります。

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. 連結業績予想

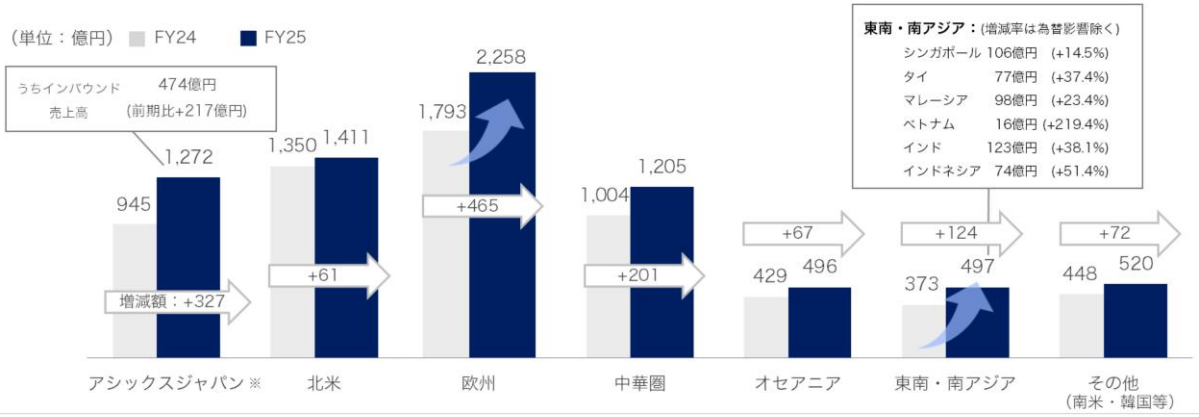
7. IRカレンダー

Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

地域別売上高

- アシックスジャパンは、インバウンドが好調なOT（+64.7%）、P.RUN（+44.7%）がドライバーとなり+34.7%の成長.
- 北米は、不採算店舗の閉鎖及びECでの販売商品の戦略的な絞り込みを行いながらも、SPSの増収（+52.4%）により前期比で+5.8%の増収.
- 欧州は、P.RUNの堅調な成長を軸に、SPSの増収（+45.0%）が牽引し、+22.1%と大幅成長.
- 中華圏は、ローカル需要を捉える商品が引き続き好調に推移し、+20.4%と成長を継続.



	アシックスジャパン※	北米	欧州	中華圏	オセアニア	東南・南アジア	その他（南米・韓国等）
増減率	+34.7%	+4.6%	+25.9%	+19.9%	+15.5%	+33.4%	+16.1%
為替影響を除く	-	+5.8%	+22.1%	+20.4%	+19.2%	+33.0%	+21.4%

※ 決算短信における日本地域の売上は、前期1,664億円、当期2,042億円です。当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要５カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております。

31

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

地域別売上高です。
全地域で増収となりました。

アシックスジャパンは、
インバウンドが好調なオニツカタイガー、パフォーマンスランニングが牽引し、
前期比約35%の増収。

北米は、不採算店舗の閉鎖や販売商品の絞り込みを行いながらも、
スポーツスタイルが50%を超える増収となり、
全体で5. 8%のプラス成長となりました。

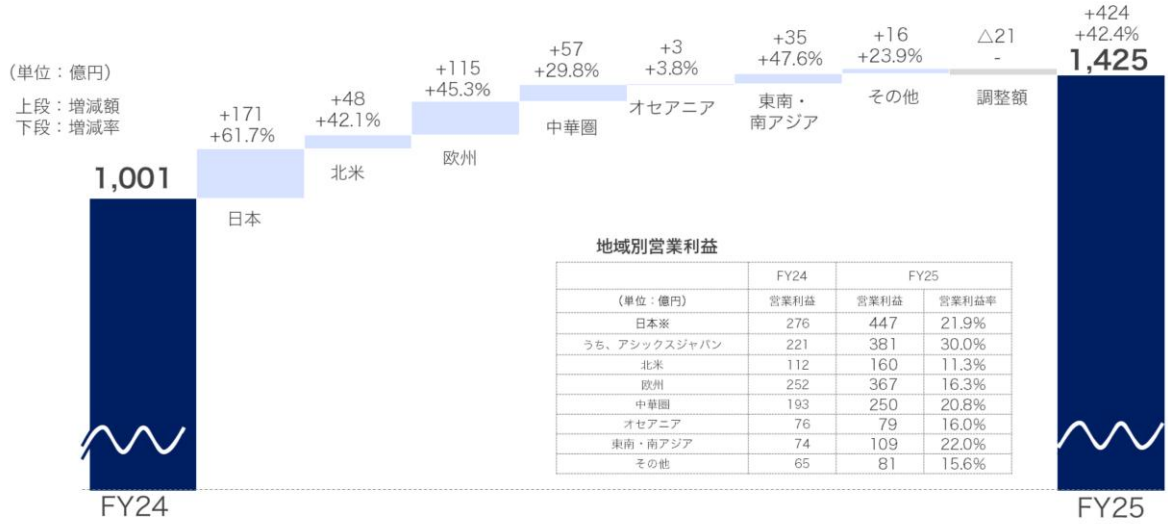
欧州は、堅調なパフォーマンスランニングに加え、
スポーツスタイルが大きく伸び、全体で22%の増収。

中華圏は、ローカル需要を捉える商品が引き続き好調で
為替影響除きで20%を超える増収となりました。

東南・南アジアも30%以上の大幅成長となっています。

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、粗利率が高いOTが大幅増収したことにより営業利益率30.0%（前期比+6.5ppt）と大幅に改善.
- 北米は、関税の影響があるも、SPSの増収、リテール及びECの収益性改善などにより、営業利益率は11.3%（前期比+3.0ppt）.
- 欧州は、増収に加え販売価格適正化などが奏功し、営業利益率は16.3%（前期比+2.2ppt）.
- 中華圏は、販売価格適正化やDTC比率の向上による粗利益率の改善もあり、営業利益率は20.8%（前期比+1.6ppt）.



地域別営業利益

	FY24	FY25	
（単位：億円）	営業利益	営業利益	営業利益率
日本※	276	447	21.9%
うち、アシックスジャパン	221	381	30.0%
北米	112	160	11.3%
欧州	252	367	16.3%
中華圏	193	250	20.8%
オセアニア	76	79	16.0%
東南・南アジア	74	109	22.0%
その他	65	81	15.6%

32

※ 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業利益を地域別にお示ししています。

ご覧の通り全地域で増益となりました。

アシックスジャパンは、主にオニツカタイガーの売上増により
営業利益率が30%に達しました。

北米では関税の影響があるものの、
スポーツスタイルの増収や、リテール及びECの収益性改善などにより
営業利益率は11.3%に良化。
現在の北米セグメントでの開示が始まった2019年以降で初めて二桁となりました。

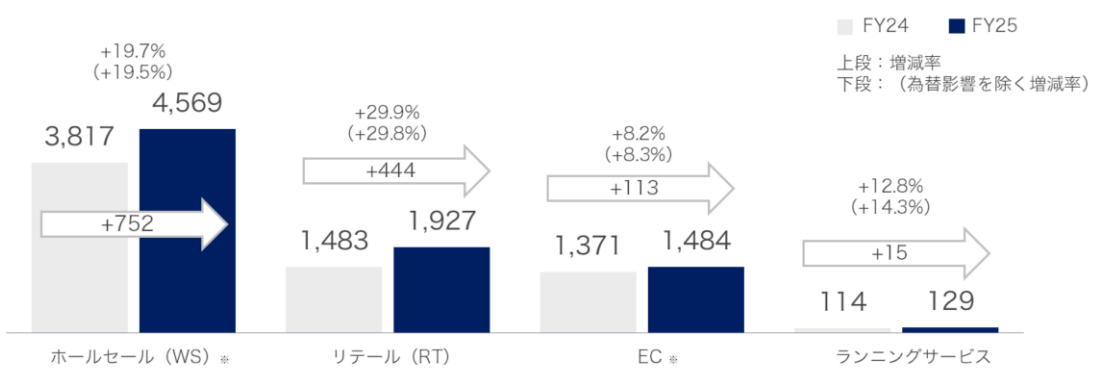
欧州は、増収に加え、販売価格適正化などが奏功し、
営業利益率は前期より2.2ポイントプラスの16. 3%となりました。

中華圏でも、販売価格適正化やDTC比率の向上による粗利益率の改善もあり、
営業利益率は1. 6ポイントプラスの20. 8%となりました。

チャネル別売上高

- ホールセールは、北米、欧州、東南・南アジア等の増収により前期比+19.5% (北米+29.5%、欧州+25.3%、東南・南アジア+32.5%).
- リテールは、アシックスジャパン、欧州、中華圏等の増収により前期比+29.8%（アシックスジャパン +65.1%、欧州+15.8%、中華圏 +21.1%）.
  営業利益率は大きく改善し、24.0%に（前期比+5.1ppt）.
- ECは、前期比+8.3%、営業利益率は18.9%（前期比+5.3ppt）. 但し、戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと26.3%の成長.

（単位：億円）



チャネル別売上高構成								
	56.2%	56.3%	21.9%	23.8%	20.2%	18.3%	1.7%	1.6%

※ 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテーラーはホールセールに含んでおります.

33

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

チャネル別売上高です。

全チャネルで増収となっています。

ホールセールは、北米、欧州、東南・南アジアで大きく増加し
全体で20%近く成長しました。

リテールは、インバウンドが好調なアシックスジャパンに加え、
欧州、中華圏で増収となり、約30%のプラス。
営業利益率は24%で、前期より大きく良化しました。

ECは戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと約26%の成長となっており、
EC全体の営業利益率も5ポイント以上改善し、18. 9%となりました。

連結売上高（月別・四半期別）

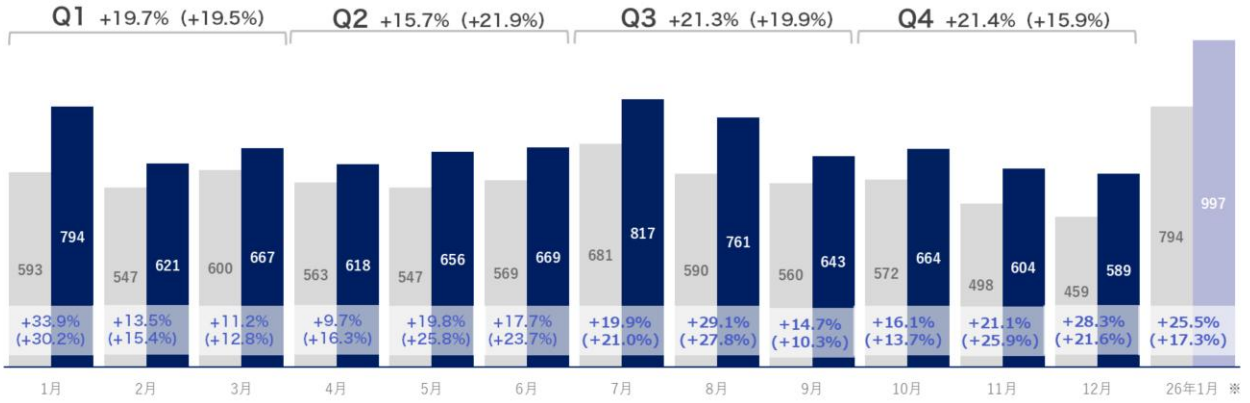
■FY25 ■売上速報
■FY24 ■前年同月比%（為替影響を除く増減率）

- 26年1月売上は単月として過去最高の997億円※．前年同月比+25.5%（為替影響除くと+17.3%）．
- 全カテゴリーで増収．特にSPSは+52.8%（為替影響除くと+40.8%）、OTは+23.5%（為替影響除くと+20.5%）と前年同月比で大幅増収．
- 地域別では、アシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアなどで大幅増収．アシックスジャパンのインバウンド売上は40億円（内、OT 34億円）となり、前年同月の29億円（内、OT 25億円）を大きく上回る（+37.9%増収）．

（単位：億円）

1月度主要地域売上	売上高	為替影響を除く増減率
連 結	997	+17.3%
アシックスジャパン	111	+16.1%
北米	154	+7.8%
欧州	375	+24.2%

	売上高	為替影響を除く増減率
中華圏	142	+20.3%
オセアニア	70	+7.1%
東南・南アジア	57	+24.2%
その他	84	+11.9%



※ 2026年1月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります．

34

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

1月の連結の売上速報値です。

単月として過去最高の997億円となりました。
全カテゴリー、全地域での増収が続いています。

インバウンドについては、先ほど富永よりご説明した通り好調に推移しています。

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IRカレンダー
Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

- 棚卸資産は翌シーズンへ向けた在庫の積み増しにより増加．為替影響を除くと増加額は319億円（前期末比+23.2%）．
- ２度にわたる総額500億円の自己株式取得を実行した一方で、純利益の順調な積上げにより自己資本比率は前期比1.4ppt上昇．

（単位：億円）

総資産 5,864（前期末比 +674）

流動資産
4,099
（前期末比 +408）

主要な増減要因

現預金の減少	△148
売掛金の増加	+140
棚卸資産の増加	+414

固定資産
1,765
（前期末比 +266）

主要な増減要因

有形固定資産の増加	+107
無形固定資産の増加	+131

負債
3,131
（前期末比 +290）

主要な増減要因

買掛金の増加	+115
未払費用の増加	+104
未払法人税・消費税等の増加	+163
社債の減少	△250

純資産
2,733
（前期末比 +384）

主要な増減要因

当期純利益	+987
配当金の支払	△157
自己株式の取得	△500

自己資本比率：46.3%（前期末：44.9%）

36

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

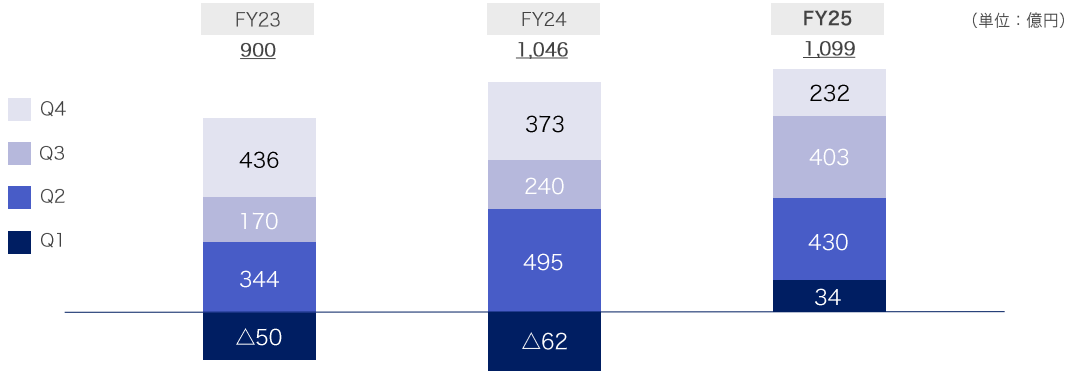
バランスシートの状況です。

棚卸資産は翌シーズンに向けた在庫の積み増しにより、
為替影響を除いて319億円増加しました。

昨年2回にわたる500億円の自己株式取得を実行した一方で、
純利益の順調な積上げにより、
自己資本比率は前期比1．4ポイント上昇しました。

連結営業キャッシュ・フロー

- 翌シーズンへ向けた在庫の積み増しがあったものの、大幅な増益により、営業キャッシュ・フローは2年連続で1,000億円の大台を突破.
- CCCは引き続き改善（136日→132日）し、営業キャッシュ・フローの拡大に寄与.



（単位：日数）

■連結CCC

	FY23	FY24	FY25	前期末比
DSO（売掛債権回転期間）	54	49	45	4日良化
DIO（棚卸資産回転期間）	173	151	152	1日悪化
DPO（買掛債務回転期間）	55	64	65	1日良化
CCC	172	136	132	4日良化
参考：現預金残高	1,140億円	1,270億円	1,122億円	△148億円

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業キャッシュフローです。

好調な業績を受け、
営業キャッシュフローは2年連続で1,000億円の大台を突破しました。

カテゴリー別／主要地域別DIO及び棚卸資産

- 受注が非常に好調なSS26の在庫を大きく積み増したものの、連結DIOは前期末比+1日の152日に抑制.
- カテゴリー別では、APEQを除くすべてのカテゴリーにおいてDIOが良化.
- 地域別では、特にOTが好調なアシックスジャパンにおいてDIOが長期化.

■連結DIO（単位：億円）

		FY24	FY25	前期末比
連結	DIO	151日	152日	+1日
	棚卸資産	1,375	1,789	+414
	うち洋上在庫	313	463	+150

■カテゴリー別（単位：億円）※

		FY24	FY25	前期末比
P.RUN	DIO	105日	96日	△9日
	棚卸資産	496	615	+119
CPS	DIO	95日	88日	△7日
	棚卸資産	134	150	+16
APEQ	DIO	161日	161日	0日
	棚卸資産	78	96	+18
SPS	DIO	87日	83日	△4日
	棚卸資産	146	222	+76
OT	DIO	211日	210日	△1日
	棚卸資産	194	247	+53

※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません.

■主要地域別（単位：現地通貨）

		FY24	FY25	前期末比
アシックスジャパン（億円）	DIO	122日	139日	+17日
	棚卸資産	166	222	+56
米国（M USD）	DIO	124日	114日	△10日
	棚卸資産	143	187	+44
欧州（M EUR）	DIO	155日	146日	△9日
	棚卸資産	234	286	+52
中国（M RMB）	DIO	170日	170日	0日
	棚卸資産	926	977	+51

38

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

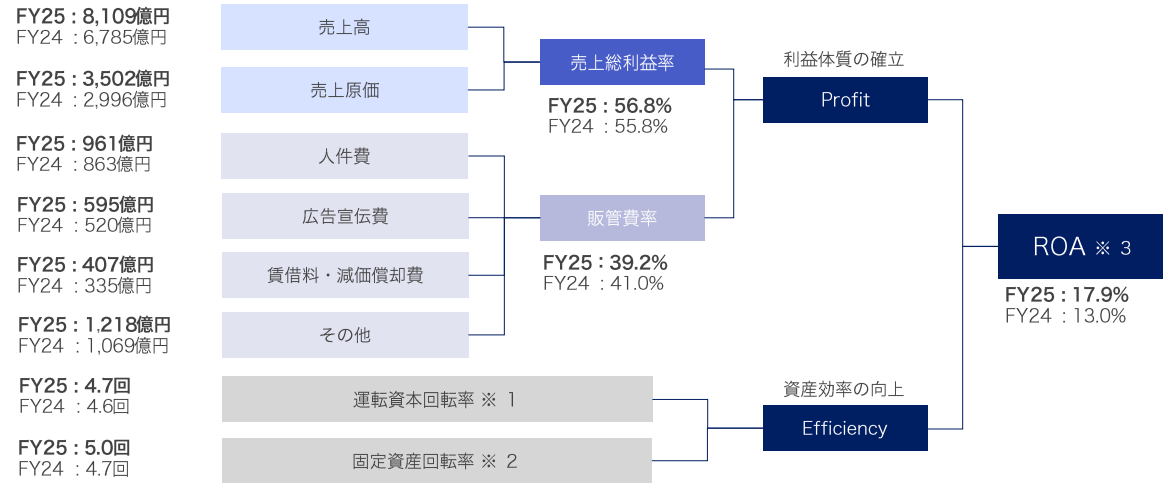
カテゴリー別・主要地域別DIOです。

カテゴリー別では、前期末と同水準となったアパレルを除き
すべてのカテゴリーで良化しています。

地域別では、オニツカタイガーが好調なアシックスジャパンにおいて長期化した一方、
米国、欧州では良化しました。

ROAツリー分解

- ブランドエクイティの更なる強化による売上総利益率の改善に加え、規律ある販管費コントロールによる販管費率の低下により利益率が向上。
- 上記に加え、資産効率も良化した結果、ROAは前期比+4.9pptの17.9%へ向上。



※1 運転資本回転率＝ 2025年12月期売上高 ／（2024年12月期期末運転資本＋2025年12月期期末運転資本）÷2

※2 固定資産回転率＝ 2025年12月期売上高 ／（2024年12月期期末固定資産＋2025年12月期期末固定資産）÷2

※3 ROA＝ 2025年12月期当期純利益 ／（2024年12月期期末総資産＋2025年12月期期末総資産）÷2

39

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

ROAです。

売上総利益率の改善に加え、販管費率の低下により利益率が向上。
資産効率も良化した結果、ROAは17.9%と大きく上昇しました。

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IRカレンダー
Appendix

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 通期業績予想

再掲

- 2026年度も全カテゴリーで増収、特にP.RUN、SPSが牽引し、売上高は前期比+17.2%増収の9,500億円、営業利益は同+20.0%増益の1,710億円を見込む．売上高および各段階利益はいずれも引き続き過去最高となる見込み．
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、中間配当18円、期末配当20円の通期38円を見込む．

(単位：億円)	FY25 実績	FY26 予想	FY25比 増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売上高	8,109	**9,500**	+17.2%	+16.7%
営業利益	1,425	**1,710**	+20.0%	+19.7%
営業利益率	17.6%	**18.0%**	+0.4ppt	-
経常利益	1,392	**1,650**	+18.5%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	987	**1,100**	+11.4%	-

配当金	中間	期末	通期
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円
2026年12月期	18.0円	20.0円	38.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2025年12月期	150.32	169.09	20.93
2026年12月期	150.00	170.00	21.00

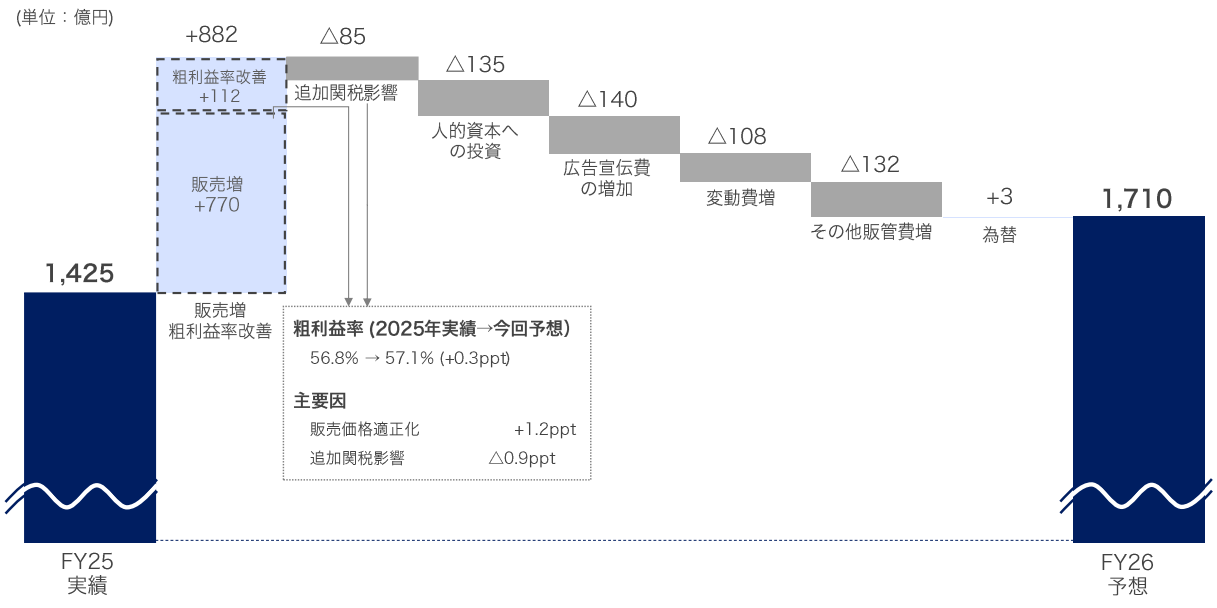
41

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度の連結業績予想です。

こちらは先ほど富永からご説明した通りです。

2026年度 通期営業利益予想増減：要素別（前年比）



©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらのグラフは、連結営業利益について
2025年実績から2026年予想への要素別の増減内訳をお示しています。

粗利益率は、前年比0．3ポイントプラスの57．1%。
米国関税の影響を、各地域での販売価格の適正化で吸収。
販売増とあわせて、増益となる見込みです。

2026年度 通期営業利益予想増減：カテゴリー別（前年比）

(単位：億円)

※ 2026年度より「アパレル・エクイップメント（APEQ）」を「アパレル（AP）」に名称変更いたします。

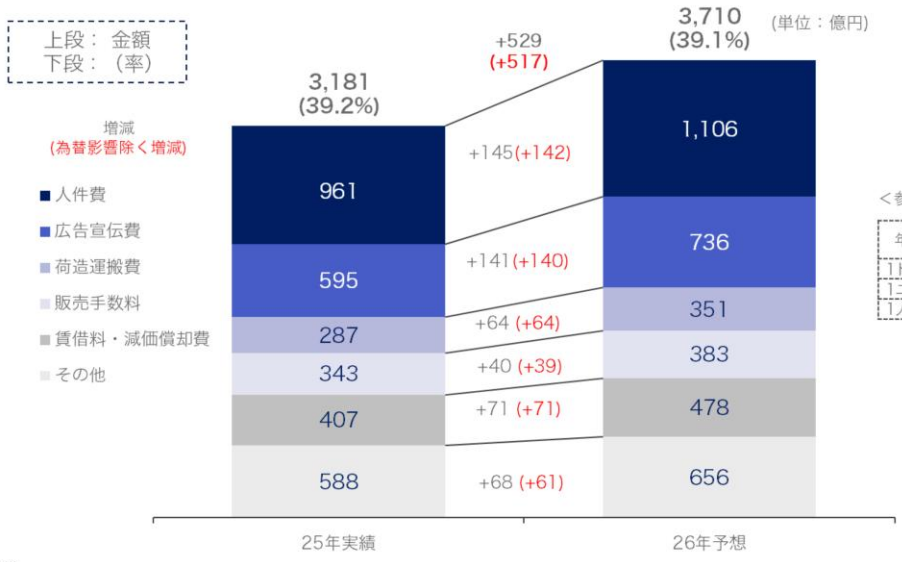
©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは、カテゴリー別の増減要因をお示ししています。

ご覧の通り、パフォーマンスランニングとスポーツスタイルが
増益のメインドライバーとなる見込みです。

2026年度　販管費

- 2026年度の販管費は、前期比で529億円増の3,710億円を計画.
- 主な増加要因は、人件費（人的資本投資の強化）、広告宣伝費及び売上変動費の増加.
- 販管費率は39.1%、引き続き規律ある販管費コントロールを実施.



＜参考：平均為替レート(円)＞

年間(1~12月)	FY25 実績	FY26 予想
1ドル	150.32	150.00
1ユーロ	169.09	170.00
1人民元	20.93	21.00

44

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度の販管費予想です。

前年比で529億円増の3,710億円を見込みます。
主に、人的資本投資の強化に加え、
広告宣伝費および売上変動費の増加を織り込んでいます。

販管費率は39.1%で、昨年に続き40%を下回る見通しです。

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IRカレンダー
Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年　IRカレンダー（予定）

イベント		
2月23日(月)	13:30 – 15:00	個人投資家様向け IR説明会 @東京
3月14日(土)	11:00 – 13:30	個人投資家様向け IR説明会 @那覇
3月25日(水)	10:00開始	2026年度定時株主総会 @神戸
4月13日(月)	時間未定	インベストメントデイ（テーマ：東南アジア戦略）
5月13日(水)	13:00開示	2026年12月期　第1四半期決算　決算発表
5月13日(水)	14:00 - 15:00	2026年12月期　第1四半期決算　決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
5月23日(土)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @福岡
6月13日(土)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @札幌
8月14日(金)	13:00開示	2026年12月期　第2四半期決算　決算発表
8月14日(金)	14:00 - 15:00	2026年12月期　第2四半期決算　決算説明会（報道機関向け）
8月17日(月)	14:00 - 15:00	2026年12月期　第2四半期決算　決算説明会（機関投資家、アナリスト向け）
8月30日(日)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @仙台
9月12日(土)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @神戸
11月13日(金)	13:00開示	2026年12月期　第3四半期決算　決算発表
11月13日(金)	14:00 - 15:00	2026年12月期　第3四半期決算　決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
11月29日(日)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @名古屋
11月頃	時間未定	インベストメントデイ（テーマ：未定）
12月12日(土)	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @広島

46

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

こちらは、IRカレンダーです。

後続のページでは、無形資産、ESGに関する取組みなどをご紹介しています。
お時間のある際にぜひご覧ください。

私からのご説明は以上となります。
ご清聴いただき、ありがとうございました。

INDEX

1. 決算サマリー等
2. 連結業績の概要
3. カテゴリー別連結経営成績
4. 地域別連結経営成績
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. IRカレンダー
Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

IRトピックス

- 2025年は個人投資家様向けIR活動の量と質を抜本的に拡充.
- 加えて過去最多となる約2,300社の機関投資家とIR面談を実施.

1 個人投資家様向けIR説明会

全国で体験型の個人投資家様向けIR説明会を開催. 2025年は約2,000名がご来場. マネジメントによるプレゼンテーション、ゲストスピーカーとの対談、シューズ試し履き、足形計測、各種展示等を実施. 2026年も8都市で実施を予定

参加者の声（抜粋）

- 経営陣の説明が丁寧でわかりやすく、これからの成長に期待を持てた
- 普段出来ない体験ができ、型通りではないところが良かった

最新の情報はこちらをご覧ください

2 IR BOOKの発行

個人投資家の皆様向けの会社概要説明資料. アシックスの創業哲学や沿革に加え、近年の好調な業績を支える経営改革やカテゴリー経営体制等を紹介

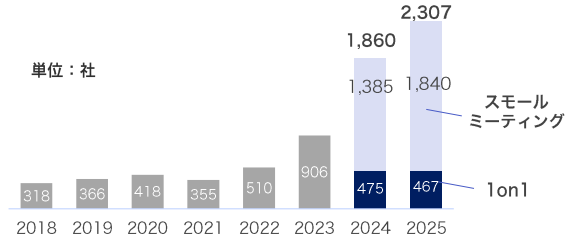
IR BOOKはこちらから

3 個人投資家様向けメール配信

決算報告、IRイベントの様子、おすすめのランニングコース等の様々な情報を動画とともにお届け. 2025年は合計16通を配信.

ご登録はこちらから！

4 IR面談実施社数



©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

ESGに関する取組み

環境

国際NPO・CDP「気候変動」のAリスト（最高評価）企業に２年連続認定

サステナビリティを経営の中心に据え、気候関連のリスク・機会を事業戦略に統合し、ステークホルダーと連携しながら、バリューチェーン全体での温室効果ガス排出削減に努めていること等が評価され、２年連続認定.
Aリストの企業は22,100社以上の中で上位４%に入る.

アップサイクルシューズ「SKYHAND OG」がSUSTAINABLE★SELECTION 2025 三つ星を取得

アッパーやサイド、かかと部、ベロ部等、メインアッパーの50%以上に豊田合成の自動車ハンドル製造時にでる端革を採用. 異業種協業の取り組みが評価され、最高評価となる三ツ星を取得.

社会

一次委託先工場を対象としたアシックス・ベンダーサミットを開催（10/29開催）

一次委託先工場の管理者やCSR担当者など計180名が参加し、アシックスのサステナビリティ方針を共有.
CSRのリスクや法令動向に関する情報提供、工場の労働・人権に関するトレーニングやツールの提供、ベストプラクィスの共有を実施.

ガバナンス

コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー2025で大賞となる「Grand Prize Company」を受賞

ステークホルダー対話型ガバナンスとして模範となるモデルであること、
取締役会で重要課題を徹底議論し、ビジネスを継続的に変革していること、
資本コストを意識した経営を行っていること等が評価される.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

無形資産に関する取組み

人的資本

PRIDE指標2025においてゴールドを7年連続受賞

職場におけるセクシュアル・マイノリティ（LGBTQ+）への取り組みの評価指標「PRIDE指標」において「ゴールド」を7年連続受賞. マネジャー職向けSOGIガイダンス作成や、国内外15地域で開催したプライドラン／ウォークが評価される.

「アシックス健康白書2025」を公開

2024年度は「ヘルスリテラシー向上と定着」を方針に、健康管理体制強化や生活習慣改善、メンタルヘルス対応、DE&I推進など5施策を実行. データヘルスで健康状態を可視化し、生産性向上等の成果も確認.
健康経営を通して、さらなるウェルビーイングの向上を目指す.

知的財産

知財・無形資産ガバナンス表彰で最優秀賞を受賞

社長直轄の「知財戦略委員会」が主導して知財ガバナンスを進め、人的資本も含めた広い範囲で無形資産に積極的に投資する姿勢等が評価される.

“Brand Strategy Summit Asia 2025”（12/2～12/3開催）登壇

シンガポールにて開催されたWTR(*)主催のLIVEイベント “Brand Strategy Summit Asia 2025”にてASICSのブランド保護活動を紹介.

*WTR：World Trademark Review

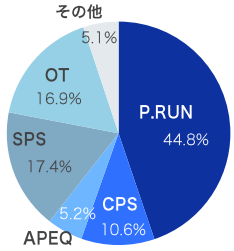
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別地域別売上高構成（2025年度）

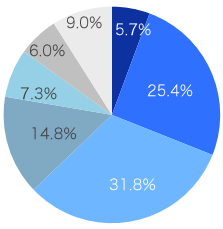
*カテゴリー毎の地域別割合

■アシックスジャパン ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■オセアニア ■東南・南アジア ■その他

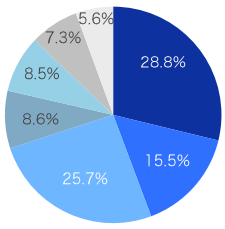
連結



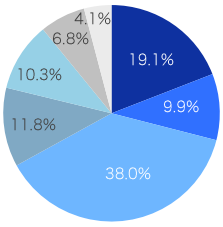
P.RUN



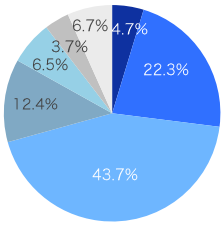
CPS



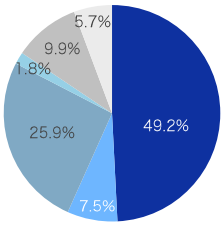
APEQ



SPS



OT

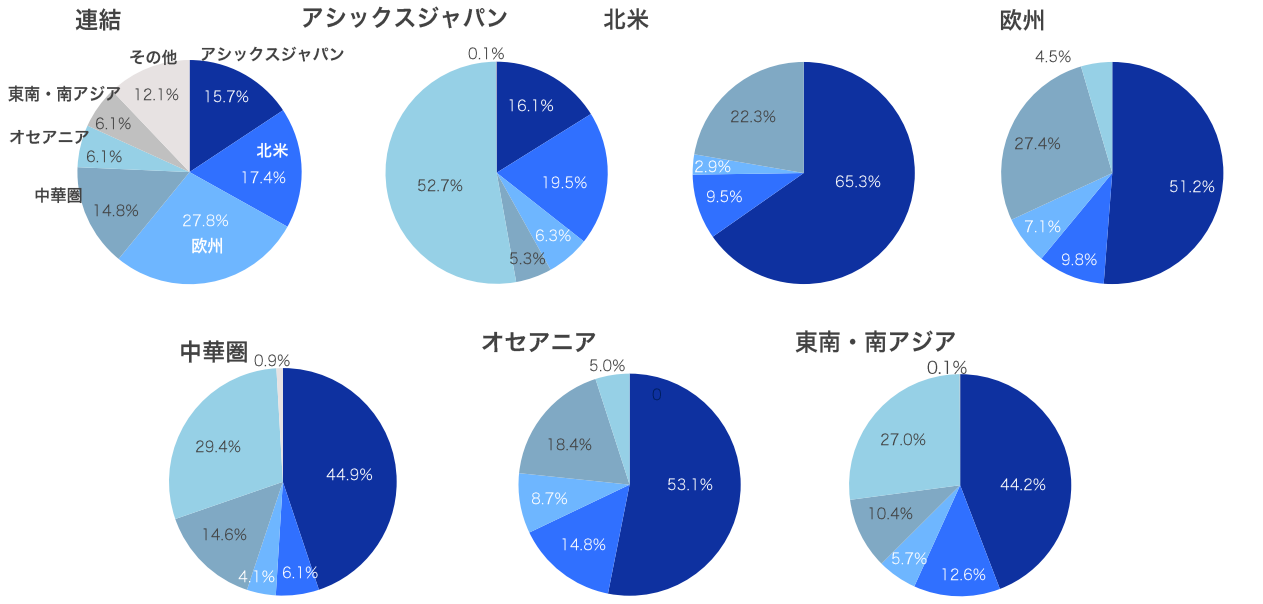


© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

主要地域別カテゴリー別売上高構成（2025年度）

*地域毎のカテゴリー別割合

■P.Run ■CPS ■APEQ ■SPS ■OT ■その他



©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2025年12月期 地域別実績

（単位：億円）

日本	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,664	**2,042**	+378	+22.7%
為替影響除く		**2,042**	+378	+22.7%
営業利益	276	**447**	+171	+61.7%
営業利益率	16.6%	**21.9%**	-	+5.3ppt

中華圏	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,004	**1,205**	+201	+19.9%
為替影響除く		**1,208**	+204	+20.4%
営業利益	193	**251**	+58	+29.8%
営業利益率	19.2%	**20.8%**	-	+1.6ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	945	**1,272**	+327	+34.7%
為替影響除く		**1,272**	+327	+34.7%
営業利益	221	**381**	+160	+71.9%
営業利益率	23.5%	**30.0%**	-	+6.5ppt

オセアニア	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	429	**496**	+67	+15.5%
為替影響除く		**511**	+82	+19.2%
営業利益	76	**79**	+3	+3.8%
営業利益率	17.8%	**16.0%**	-	△1.8ppt

北米	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,350	**1,411**	+61	+4.6%
為替影響除く		**1,427**	+77	+5.8%
営業利益	112	**160**	+48	+42.1%
営業利益率	8.3%	**11.3%**	-	+3.0ppt

東南・南アジア	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	373	**497**	+124	+33.4%
為替影響除く		**496**	+123	+33.0%
営業利益	74	**109**	+35	+47.6%
営業利益率	19.9%	**22.0%**	-	+2.1ppt

欧州	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,793	**2,258**	+465	+25.9%
為替影響除く		**2,189**	+396	+22.1%
営業利益	252	**367**	+115	+45.3%
営業利益率	14.1%	**16.3%**	-	+2.2ppt

その他地域	FY24 (1-12月)	FY25 (1-12月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	448	**520**	+72	+16.1%
為替影響除く		**543**	+95	+21.4%
営業利益	65	**81**	+16	+23.9%
営業利益率	14.6%	**15.6%**	-	+1.0ppt

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2025年12月期 地域別実績

（単位：億円）

日本	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	423	**522**	+99	+23.4%
為替影響除く		**522**	+99	+23.4%
営業利益	68	**112**	+44	+64.7%
営業利益率	16.1%	**21.5%**	-	+5.4ppt

中華圏	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	222	**276**	+54	+23.9%
為替影響除く		**265**	+43	+19.5%
営業利益	18	**26**	+8	+51.3%
営業利益率	7.9%	**9.6%**	-	+1.7ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	231	**312**	+81	+35.0%
為替影響除く		**312**	+81	+35.0%
営業利益	53	**93**	+40	+75.4%
営業利益率	23.1%	**30.0%**	-	+6.9ppt

オセアニア	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	110	**150**	+40	+36.1%
為替影響除く		**147**	+37	+33.4%
営業利益	21	**26**	+5	+23.5%
営業利益率	18.9%	**17.1%**	-	△1.8ppt

北米	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	308	**287**	△21	△6.7%
為替影響除く		**280**	△28	△9.2%
営業利益	1	**1**	△0	△36.1%
営業利益率	0.4%	**0.3%**	-	△0.1ppt

東南・南アジア	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	86	**114**	+28	+33.8%
為替影響除く		**113**	+27	+31.2%
営業利益	8	**16**	+8	+102.5%
営業利益率	9.2%	**13.9%**	-	+4.7ppt

欧州	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	362	**469**	+107	+29.2%
為替影響除く		**415**	+53	+14.6%
営業利益	14	**31**	+17	+120.0%
営業利益率	3.8%	**6.5%**	-	+2.7ppt

その他地域	FY24 (10-12月)	FY25 (10-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	86	**128**	+42	+49.2%
為替影響除く		**119**	+33	+39.6%
営業利益	4	**12**	+8	+207.5%
営業利益率	4.4%	**9.2%**	-	+4.8ppt

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 通期業績予想：カテゴリー別

（単位：億円）		FY25 実績	FY26 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,635	4,150	+14.2%	+13.7%
	カテゴリー利益	860	1,040	+20.9%	+20.6%
	カテゴリー利益率	23.7%	25.1%	+1.4ppt	-
CPS	売上高	860	980	+13.9%	+13.5%
	カテゴリー利益	167	190	+13.3%	+12.8%
	カテゴリー利益率	19.5%	19.4%	△0.1ppt	-
AP	売上高	420	480	+14.1%	+13.9%
	カテゴリー利益	59	70	+17.8%	+17.7%
	カテゴリー利益率	14.1%	14.6%	+0.5ppt	-
SPS	売上高	1,413	2,050	+45.1%	+44.4%
	カテゴリー利益	413	600	+45.1%	+44.7%
	カテゴリー利益率	29.3%	29.3%	-	-
OT	売上高	1,365	1,520	+11.3%	+11.3%
	カテゴリー利益	514	540	+4.9%	+4.9%
	カテゴリー利益率	37.7%	35.5%	△2.2ppt	-
Walking	売上高	164	162	△1.5%	△1.5%
	カテゴリー利益	18	22	+20.5%	+20.6%
	カテゴリー利益率	11.1%	13.6%	+2.5ppt	-

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 通期業績予想：地域別

（単位：億円）		FY25 実績	FY26 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※	売上高	2,042	1,800	△11.9%	-
	営業利益	447	450	+0.6%	-
	営業利益率	21.9%	25.0%	+3.1ppt	-
うち、アシックスジャパン	売上高	1,272	1,380	+8.4%	-
	営業利益	381	430	+12.7%	-
	営業利益率	30.0%	31.2%	+1.2ppt	-
北米 地域	売上高	1,411	1,680	+19.0%	+18.4%
	営業利益	160	180	+12.4%	+11.1%
	営業利益率	11.3%	10.7%	△0.6ppt	-
欧州 地域	売上高	2,258	2,810	+24.4%	+24.4%
	営業利益	367	520	+41.5%	+41.8%
	営業利益率	16.3%	18.5%	+2.2ppt	-
中華圏 地域	売上高	1,205	1,400	+16.2%	+16.9%
	営業利益	250	300	+19.5%	+20.1%
	営業利益率	20.8%	21.4%	+0.6ppt	-
オセアニア 地域	売上高	496	580	+16.8%	+13.1%
	営業利益	79	100	+26.1%	+21.8%
	営業利益率	16.0%	17.2%	+1.2ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	497	590	+18.5%	+21.5%
	営業利益	109	130	+18.8%	+21.9%
	営業利益率	22.0%	22.0%	-	-

※ 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

©2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

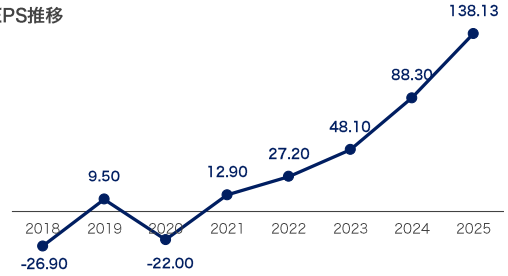
株価及び指標の推移

■株価推移 2017年末 – 2026年２月12日

※2018年初を100として標準化

出所：ブルームバーグ

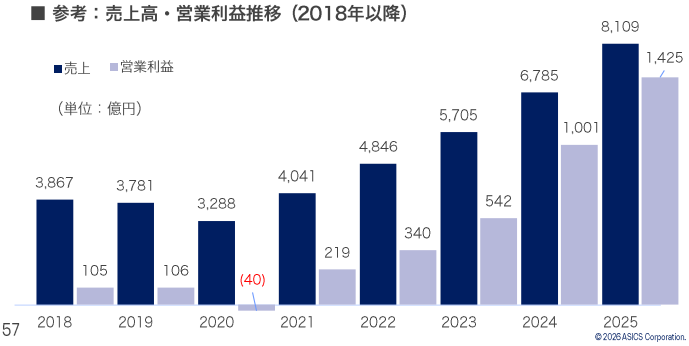
■ EPS推移



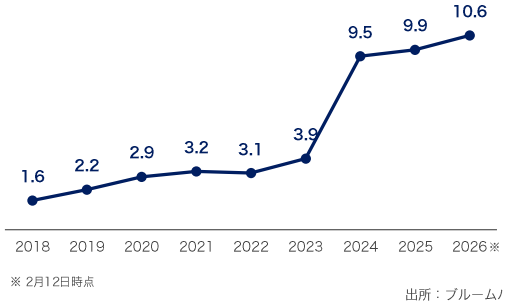
※ 2025年12月30日時点

出所：ブルームバーグ

■ 参考：売上高・営業利益推移（2018年以降）



■ PBR推移



※ 2月12日時点

出所：ブルームバーグ

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

sound mind, sound body

DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。
ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.